

授業科目 理学療法学概論

【担当教員名】 黒川幸雄	対象学年	1	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要及び学習目標】

概要：

理学療法士となるための教育機関に入学しての理学療法学概論である。したがって理学療法学科4年間での教育の流れなどのオリエンテーションからはじまって、次に理学療法学とはどんな学問なのを誕生、歴史、倫理、科学性などについて選んで考えてみる。実際の保健医療福祉分野での理学療法の位置付けと役割などについてチームアプローチの観点からみる。またQOL、バリアフリーなどの新しい概念の理解を深めながら理学療法の意味を理解して、今後の学習の基礎とする。最後に実際の保健医療福祉の臨床現場を見学して、理学療法の意義について考えてみる。

教育目標：

- 1, 理学療法学の大学教育の流れを理解する。
- 2, 理学療法学の歴史をたどり現在の到達点を理解し、今後の学習に生かす。
- 3, 理学療法学の科学性とは何か考え、今後の学習に生かす。
- 4, 保健医療福祉分野における理学療法の位置付けや役割を理解し、学習に生かす。
- 5, 実際の現場を見学や体験して理学療法の実践について理解を深め、今後の学習に生かす。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1		理学療法学科の全教育課程について等	オリエンテーション
2		映画「心の旅」鑑賞など、レポート提出	映画
3		事例検討を通じて今後の学習との関連を理解する	事例検討(1)
4		事例検討を通じて今後の学習の動機付けを図る	事例検討(2)
5		高齢者、車椅子障害者、脳卒中障害者などの理解	障害体験
6		ノーマライゼーション、バリアフリーなどについて	グループワーク
7		同上	グループワーク・発表
8		理学療法の起源、歴史、倫理、問題、課題、将来など	グループワーク
9		同上	グループワーク・発表
10		保健医療福祉のチーム・ワーク論	グループワーク・講義
11		基礎理学療法学について	講義
12		理学療法評価学について	講義
13		理学療法治療学について	講義
14		地域理学療法学について	講義
15		新潟リハビリテーション病院見学、レポート提出	発表

【評価方法】

出席、授業態度、期末試験、レポートなどを総合して行なう。

【履修上の留意点】

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	理学療法概論		医歯薬出版	